

## 平成29年度霧ヶ峰における電気柵等の設置（案）

## 1 設置

霧ヶ峰においてニッコウキスゲなどの高山植物をニホンジカから守るため、霧ヶ峰自然環境保全協議会構成団体において次のとおり電気柵等を設置します。

設置場所	設置時期 (予定)	概要	実施主体等
① インターチェンジ前園地	平成29年5月上旬	電気柵 約2.0km	下桑原牧野農業協同組合
② 忘れじの丘	平成29年5月上旬	電気柵 約0.6km	下桑原牧野農業協同組合
③ 車山地区	平成29年5月中下旬	電気柵 約4.6km	車山高原観光協会
④ 車山肩地区	平成29年5月中旬 (5月第3週設置予定) (10月第4週撤去予定)	防護ネット 約0.46km 電気柵 約2.1km	霧ヶ峰自然環境保全協議会 電気柵のうち0.4kmは丈の低い二重電気柵 約0.1km増設
⑤ 富士見台西側	平成28年5月中旬 (5月第3週設置予定) (10月第4週撤去予定)	電気柵 約0.8km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
⑥ 八島ヶ原湿原	常設	鋼鉄柵 約4.0km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
計		電気柵 約10.1km ネット 約0.46km 鋼鉄柵 約4.0km 計 約14.56km	

## 2 平成28年度の効果

- (1) 車山肩地区のニッコウザサ刈取り地区において平成27年度より設置した延長0.5kmの電気柵内では、昨年よりもニッコウキスゲ等が開花し、さらなる植生の回復が見られた。草本類の種数が増加し、優占度も高くなった。

車山肩地区の一部では、丈の低い二重柵を継続して設置し、観光客の写真撮影等に配慮した。

八島ヶ原湿原に設置したシカ柵は昨年度の降雪量が少なかったため、大規模な補修の必要はく被害防止効果は継続していると思われる。

## 3 課題

ニホンジカの個体数が一定程度減少するまでは、継続して電気柵等を設置し、さらに範囲を拡大する必要があるが、資材費の確保及び設置・メンテナンス等にかかる労働力の確保が難しい。

八島ヶ原湿原の鋼鉄柵が冬季積雪により損傷を受けており、継続的なメンテナンスの方法を検討する必要がある。

